

## 『弘前大学 國史研究』 総目録 (附・著者別索引)

## 例 言

- 1 本稿は、『弘前大学 國史研究』創刊号から第100号までの総目録である。
- 2 総目録は、Ⅰ 総目次、Ⅱ 著者別索引の二部門によって構成される。
- 3 Ⅰ 総目次は、1956年発行の創刊号より、1996年発行の第100号までの全目次（無記名記事を含む）を、号数順に掲示する。“論文”“書評”などといった記事の区分は、当該号発行時点でのそれをそのまま踏襲する。ただし彙報の類は掲示していない（一部署名原稿は除く）。  
なお各記事冒頭の通し番号数字は、著者別索引のための検索番号である。
- 4 Ⅱ 著者別索引は、評者をも含み、機関名・団体名・ペンネームの別を問わず、文責の明示されたもののみを取り上げる。
- 5 総目録全体を通じ、文字・仮名遣い・表記法は、原則として原文に従うこととするが、一部通用字体に改めたところがある。
- 6 本稿の作成は小口雅史が担当した。また弘前大学大学院在学の石田一生氏の協力を得た。  
(小口 雅史)

## Ⅰ 総目次

創刊号 1956年11月	著者名	頁
1 和銅元年の造籍	虎尾 俊哉	1
2 律令時代に於ける郷の分割について	佐藤 仁	12
3 三本木原開拓史要	新渡戸 憲之	29
4 史料紹介 “津輕藩日記”	千葉 良一	38
5 史料紹介 岩見文庫目録 (一)		42
第2号 1956年12月		
6 義倉帳と九等戸	時野谷 滋	1
7 近世に於ける土地永代売買とそれに伴う高の移転について—南部藩の場合	盛田 稔	18
8 元禄國絵図に関する新資料について—弘前藩の場合	羽賀 與七郎	29
9 史料紹介 岩見文庫目録 (二)		46
第3号 1957年2月		
10 新井白石の世界圏認識	宮崎 道生	1
11 慈円の念仏観	田中 信夫	26
12 史料紹介 淡輪元朔 北海奥州日記抄について	田名部 貞宣	45
第4号 1957年4月		
13 壬午にいたる日鮮関係—英国領事報告を通じて	杉井 六郎	1
14 三本木原開拓史要 (二)	新渡戸 憲之	21
15 史料紹介 津輕藩日記—延宝三年参観関係記事	千葉 良一	27
16 史料紹介 岩見文庫目録 三		39
17 書評 窪徳忠著 庚申信仰	秋月 観暎	43
第5号 1957年6月		
18 能の変動期の史的意義と様相の一斑	井浦 芳信	1
19 明治文化の恩人ボアソナード氏—拷問廃止に関係させて	蝦名 庸一	11

20 史料紹介 近江商人の家定について	盛田 稔	27
21 論文紹介 古田良一博士「津輕十三湊の研究」(東北大学文学部研究年報第七号)	高橋 栄悦	43

#### 第6号 1957年8月

22 大化改新後国造再論	虎尾 俊哉	1
23 大宝二年戸籍と和銅元年戸籍—虎尾氏「和銅元年の造籍」を読みと	高橋 崇	28
24 研究余録 郷土の懐古	郡場 寛	36
25 研究余録 白石書写『越前国浦記(韃靼漂流記)』について	宮崎 道生	38
26 研究余録 「あまりべ」條について(日本歴史大辞典所収)	佐藤 仁	44
27 史料紹介 岩見文庫目録(四)		46

#### 第7号 1957年10月

28 大化改新に於ける反蘇我勢力の構造	新野 直吉	1
29 津輕沿岸地方の上知問題と国絵図改正	羽賀 與七郎	18
30 陸羯南の條約改正論(上)	稲葉 克夫	34
本会第1回大会研究発表要旨		
31 奈良時代初期に於ける地名改正の過程について	佐藤 仁	48
32 蔵入式の成立年代について	小田川 匡男	49
33 先史時代における農耕と田舎館式文化	井上 久	50
34 田舎館遺跡	工藤 正	51
35 乳井貢の学統に関する一考察	千葉 良一	53
36 土地売渡手形の分類について	盛田 稔	54
37 津輕藩侯とキリシタン	石戸谷 正司	55
38 「国民之友」考	稲葉 克夫	55

#### 第8号 1957年12月

39 青森縣下の海運史料	古田 良一	1
40 陸羯南の條約改正論(下)	稲葉 克夫	13
41 三本木原開拓史要(三)	新渡戸 憲之	27
42 郷土研究と故郡場学長	田名部 貞宣	42

#### 第9号 1958年2月

43 下北半島に残る庚申信仰の諸形態	秋月 観暎	1
44 国・郡分割と藤原氏—奈良時代初期中期を中心とした	佐藤 仁	20
45 史料紹介 岩見文庫目録(五)		37

#### 第10・11合併号 1958年6月

46 ローマの使節シドチの潜入事情	宮崎 道生	1
47 津輕地方における石器時代の蝦夷	井上 久	33
48 学界動向 南関東に於ける土師器とその問題	坂詰 秀一	54
49 研究余録 元禄の飢饉と津輕藩土	田名部 貞宣	64
50 論文紹介 今野敏氏「津輕藩政に関する一考察」—寛政年間に於ける武士土着制の顛末について(日本歴史第一〇六号所載)	千葉 良一	67
51 史料紹介 岩見文庫目録(六)		71

#### 第12号 1958年8月

52 延喜主税式勘税帳条の研究	虎尾 俊哉	1
-----------------	-------	---

53 津輕藩侯とキリシタン	石戸谷 正司	20
54 最後の潜入伴天連「ローマの使節」シドチ神父の殉教事情	内山 善一	34
55 史料紹介 岩見文庫目録(七)		47
56 弘前大学国史研究總目次(自創刊号至十二号)		49

### 第13号 1958年10月

57 近世小作の分類に関する一考察	盛田 稔	1
58 津輕切支丹史の一考察	松森 永祐	21
59 新刊紹介 『津輕旧記伝類』(みちのく双書第五集)	羽賀 與七郎	34
60 史料紹介 岩見文庫目録(八)		40

### 第14号 1958年12月

61 奥羽地方北部の縄文文化の終末とそれ以降の文化-井上久君の見解に寄せて	江坂 輝彌	1
62 史料紹介 『永禄日記』について	荒井 清明	22
63 史料紹介 岩見文庫目録(九)		26

### 第15・16合併号 1959年4月

64 寛永通寶の中國流通について	川久保 悌郎	1
65 弘前藩御刑法牒(寛政律)	蝦名 庸一	11
66 陸羯南聞書	稲葉 克夫	46
67 史料紹介 岩見文庫		58

### 第17号 1959年6月

68 「白石先生琉人問對」について	宮崎 道生	1
69 津輕三関について	佐藤 仁	25
70 史料紹介 岩見文庫目録(十一)		38
第二回大会研究発表要旨		
71 近世津輕地方の交通	佐藤 仁	46
72 安永の弘前藩刑法-寛政律との比較	蝦名 庸一	46
73 所謂「課役論争」のわが古代史理解に及ぼす影響について	虎尾 俊哉	47

### 第18号 1959年8月

74 稽古館成立に関する一考察	羽賀 與七郎	1
75 「『白石先生琉人問對』について」を読む-宮崎道生君に答う	東恩納 寛惇	28
76 論文紹介 瀧川政次郎氏「斉明朝における東北経略補考」(史観六七-二)	田名網宏氏「斉明紀『渡島』再論-瀧川博士の批判に答える-」(同誌六七-一)	32
77 史料紹介 岩見文庫目録(十二)	虎尾 俊哉	37

### 第19・20合併号 1959年12月

78 延喜主税式諸國出挙本稻条の研究-延喜主税式研究(2)	虎尾 俊哉	1
79 安永期の弘前藩刑法-寛政律との比較	蝦名 庸一	29
80 岩木山麓の大森勝山遺跡で発見した大竪穴住居址	村越 潔	46
81 史料紹介 岩見文庫目録(十三)		55

### 第21号 1960年4月

82 江戸時代前期に於ける津輕藩の新田開発(上)	奥本 算人	1
83 津輕藩林政と入会地について(上)	長内 鉄也	29

84 新刊紹介 津輕歴代記類	小館 衷三	44
85 史料紹介 岩見文庫目録 (十四)		48

## 第22号 1960年8月

86 林鷺峰と新井白石	宮崎 道生	1
87 江戸時代前期に於ける津輕藩の新田開発 (下)	奥本 算人	22
88 津輕藩林政と入会地について (下)	長内 鉄也	42
89 史料紹介 岩見文庫目録 (十五)		56

## 第23号 1960年11月

90 津輕信政時代における法令の整備－農民統制を中心に	蝦名 庸一	1
91 信政時代における交通問題－土木事業を中心として	佐藤 仁	16
92 津輕信政と吉川神道	小館 衷三	47
93 附録 津輕信政年譜	宮崎 道生編	(1)

## 第24号 1960年12月

94 津輕銀小考	伊東 多三郎	1
95 乳井貢の經濟思想について	宮本 真澄	5
96 史料紹介 岩見文庫目録 (十六)		37
第三回大会研究発表要旨		
97 岩木山麓における縄文時代の竪穴住居址について	村越 潔	47
98 津輕信政と吉川神道	小館 衷三	47
99 金沢文庫存続の意義	佐藤 和夫	47

## 第25号 1961年2月

100 津輕信政とその文教	羽賀 與七郎	1
101 津輕信政治下における藩士の生活の一考察	鈴木 照子	25
102 史料紹介 津輕信政関係文献目録抄		59

## 第26号 1961年6月

103 岩木山麓における縄文時代の竪穴式住居址について	村越 潔	1
104 津輕藩における凶作飢饉－天明の飢饉を中心として	松尾 捷一	14
105 史料解説 御用格 (一)		42

## 第27号 1961年9月

106 金沢文庫存続の意義－中世に於ける教學活動の背景について	佐藤 和夫	1
107 史料紹介 大山格之助の手紙	工藤 祐司	32
108 史料紹介 平山日記	大江 正文	35
109 史料解説 御用格 (二)		41

## 第28号 1961年12月

110 新井白石と近世後期の学者文人－白石と伊勢貞丈・太田南畝・滝沢馬琴	宮崎 道生	1
111 文政天保期に於ける八戸藩の藩政改革	宗 定範	28
112 新刊紹介 市政施行30周年記念出版「概説八戸の歴史」中巻一・二	大川 哲夫	49

## 第29号 1962年3月

113 南部藩における御給人制度について	盛田 稔	1
----------------------	------	---

114 寛政期における津軽藩の農民政策	田村 熹弘	13
115 新刊紹介 市政施行三十周年記念出版 概説『八戸の歴史』下1	原田 正信	44
116 史料紹介 岩見文庫目録(十七)		46

### 第30号 1962年7月

117 安東氏と北條氏	豊田 武	1
118 津軽藩における宝暦改革の一考察	大川 哲夫	9
119 史料解説 要記秘鑑	大江 正文	39
第四回大会研究発表要旨(学生部会)		
120 津軽新田開発と屏風山	菅井 睦生	48
121 条約改正問題の一考察	稲葉 克夫	49
第四回大会研究発表要旨(地方史部会)		
122 近世津軽の庚申塔	小館 衷三	50
123 弘前藩の富突について	小野 慎吉	50
124 弘前藩の西洋学	羽賀 與七郎	51
125 津軽の製鉄史瞥見	成田 末五郎	52
126 安東氏と北條氏	豊田 武	52
第四回大会研究発表要旨(考古学部会)		
127 青森県尾上町八幡崎低湿地遺跡の概要	工藤 正	53
128 青森県田舎館遺跡の発掘	伊東 信雄	53
129 展示史料目録		53

### 第31号 1962年11月

130 弘前藩の学風	羽賀 與七郎	1
131 建部綾足の「女誠ひとへ衣」について	井上 豊	23
132 日本靈異記二題	虎尾 俊哉	38
133 書評 竹内道雄著『道元』を読んで	伊東 洋一	44

### 第32号 1962年12月

134 近世津軽の庚申塔	小館 衷三	1
135 中世津軽成立過程について—曾我氏を中心とする—	佐藤 和夫	12

### 第33号 1963年5月

136 条約改正における井上外交の論理とその支柱的条件の考察	稲葉 克夫	1
137 青森県の自由民権運動—弘前地方を中心に—	橋本 正信	34
138 研究余録 津軽藩における江戸・国許連絡—藩営飛脚について—	佐藤 仁	53
139 新刊紹介 「青森県租税誌前編」	松本 佩	60

### 第34号 1964年2月

140 明治初年弘前藩の「帰田法」に関する若干の問題	長岡 新吉	1
141 条約改正における井上外交の論理とその支柱的条件の考察(下)	稲葉 克夫	19
142 史料紹介 岩見文庫目録(18)		41

### 第35号 1964年6月

143 西洋紀聞の初稿断片—「零本ヨハンバッティスタ物語」—	宮崎 道生	1
144 屏風山植林史	菅井 睦生	23

145 下北半島における古代蝦夷の問題	鳴海 健太郎	42
146 新刊紹介 弘前市史編纂委員会編『弘前市史』藩政篇・明治大正昭和篇	虎尾 俊哉	50

### 第36号 1964年9月

147 進化論理論の一展開－伊東重の「養生哲学」の成立とその実践	相沢 文蔵	1
148 自由民権家中市稲太郎について	稲葉 克夫	21
149 史料紹介 官省指令留・官省願伺届－青森県地租改正事業に関連して	栗田 郁夫	40
150 史料紹介 津軽藩日記目録（一）	津軽藩政史研究会編	44

### 第37号 1964年11月

151 蘭洲と綾足－伊勢物語に関する著作をめぐる	福井 貞助	1
152 西洋紀聞の初稿断片の示唆する白石のキリシタン教義批判	内山 善一	9
153 史料解説 津軽藩政時代の宗教史料の一考察	小館 衷三	22
154 史料紹介 弘前藩日記目録（二）	弘前藩政史研究会編	39

### 第38号 1965年2月

155 國造の名称	新野 直吉	1
156 津軽藩創業期に於ける若干の問題	荒井 清明	9
157 史料紹介 滝屋伊東家海運資料について	小笠原 二郎	25
158 史料紹介 弘前藩日記目録（三）	弘前藩政史研究会編	31

### 第39号 1965年5月

159 新井白石と裁判	宮崎 道生	1
160 津軽信明の庚申待・甲子待	小館 衷三	26
161 近世交通碑文・追分石小考	佐藤 仁	32
162 史料紹介 弘前藩日記目録（四）	弘前藩政史研究会編	39

### 第六回大会研究発表要旨

163 津軽永采の挙統	羽賀 與七郎	47
164 津軽信明の庚申待・甲子待	小館 衷三	47
165 自由民権家角鹿忠四郎について	稲葉 克夫	47
166 近世交通碑文・追分石小考	佐藤 仁	47

### 第40号 1965年10月

167 日本霊異記雑考－素材・成立事情	虎尾 俊哉	1
168 書評 宮崎道生著「折たく柴の記釈義」	佐藤 和夫	11
169 史料紹介 弘前藩日記目録（五）	弘前藩政史研究会編	20

### 第41号 1965年11月

170 地名より見たる津軽村落の草創に就て	平山 久夫	1
171 研究余録 江戸浅草寺の繁昌	小館 衷三	11
172 書評 小野久三著 青森県政治史（1）明治前期編	稲葉 克夫	16
173 史料紹介 弘前藩日記目録（六）	弘前藩政史研究会編	23

### 第42号 1965年12月

174 「北条実時書状」の武家々訓としての評価	佐藤 和夫	1
175 書評 増田四郎著『東と西』	宮崎 道生	18
176 史料紹介 天明八年巡見使予想問答集（上）	小笠原 二郎	29

177 史料紹介 弘前藩日記目録（七）	弘前藩政史研究会編	41
---------------------	-----------	----

#### 第43号 1966年6月

178 江戸幕府貨幣制度の成立	小葉田 淳	1
179 新刊紹介 陸奥史談会編 羽賀与七郎著『津軽英麿伝』	蝦名 庸一	9
180 史料紹介 天明八年巡見使予想問答集（下）	小笠原 二郎	13
181 史料紹介 弘前藩日記目録（八）	弘前藩政史研究会編	20
182 創立十周年記念学会記事	荒井 清明	41

#### 第44号 1966年10月

183 歴史と歴史教育	坂本 太郎	1
184 歴史教育と戦後史	佐藤 和夫	12
185 歴史学習に生かせる郷土資料—下北の歴史的事象を中心として—	鳴海 健太郎	16
186 問題解決学習法について—日本史の授業から—	七尾 美彦	32
187 新刊紹介 長尾角左衛門著『岩木川物語』	羽賀 与七郎	34
188 史料紹介 弘前藩日記目録（九）	弘前藩政史研究会編	37

#### 第45号 1966年11月

189 北条氏と東北地方	豊田 武	1
190 聖徳太子の政治姿勢—太子と蘇我氏との関係—	新野 直吉	7
191 史料紹介 弘前藩日記目録（十）	弘前藩政史研究会編	17

#### 第46号 1966年12月

192 新井白石の性格と感情—『折たく柴の記』を通じて見た—	宮崎 道生	1
193 新井白石と西洋形而上学	内山 善一	13
194 紹介 史料館所蔵史料目録第十二集（津軽家文書目録）	蝦名 庸一	25
195 史料紹介 弘前藩日記目録（十一）	弘前藩政史研究会編	27

#### 第47号 1967年6月

196 弘前藩「御定書」に関する一考察	蝦名 庸一	1
197 史料紹介 銭屋関係書状（「滝屋文書」所収）について	小笠原 二郎	13
198 史料紹介 弘前藩日記目録（十二）	弘前藩政史研究会編	45

#### 第48・49号 1967年11月

199 津軽藩政時代のキリシタン類族について	小館 衷三	1
200 松前藩における商業資本の成長と蝦夷叛乱	佐々木 悦夫	21
201 北奥羽の自由民権論者角鹿忠四郎について	稲葉 克夫	37
202 新刊紹介 燦爛雄辯 日本城郭全集 1—「北海道・青森・岩手・秋田編」	佐藤 仁	58
203 史料紹介 弘前藩日記目録（十三）	弘前藩政史研究会編	61

#### 第50号 1968年3月 明治特集号

204 白石史学と文明史学	宮崎 道生	1
205 本多庸一に見る明治初期プロテスタンティズム	佐藤 和夫	19
206 官省指令留等からみた青森県の斗南藩対策の実態	小笠原 二郎	39
207 津軽地方のりんご産地形成—そのアウトラインと問題点—	斎藤 康司	61
208 研究余録 船水武五郎伝—製紙界の功労者—	成田 末五郎	73
209 研究余録 津軽の藩儒兼松成言について	月足 正朗	81

210 研究余録 八戸における安藤昌益研究の現況	稲葉 克夫	87
211 彙報（最近における青森県関係図書の刊行状況）	佐藤 仁	90

### 第51号 1968年7月

212 地方史と古文書学	宝月 圭吾	1
213 下北半島における飛騨屋久兵衛の事歴	鳴海 健太郎	11
214 新刊紹介 青森市史 七 資料編 一	大川 哲夫	22
215 史料紹介 弘前藩日記目録（十四）	弘前藩政史研究会編	27

### 第52号 1968年11月

216 津輕曹洞宗史序説	小舘 衷三	1
217 国会開設運動期の青森県の動向—明治十二年代を中心に—	橋本 正信	15
218 宮崎道生校訂『新訂西洋紀聞』を読んで	杉井 六郎	33
219 新刊紹介（岩木山、青森銀行史、津輕古事記、百年の年輪、写真青森県百年史、明治百年、その日の出来事）	荒井 清明	37
220 史料紹介 弘前藩日記目録（十五）	弘前藩政史研究会編	39

### 第53号 1969年6月 歴史教育特輯号

221 地方史教育に関する二三の管見	新野 直吉	1
222 「日本史」学習についての三つの断章—43年度高教研日本史部会から—	稲葉 克夫	12
223 歴史学習における郷土の取り扱い	月足 正朗	21
224 文化財公開施設と日本史の授業	佐藤 仁	25
225 新刊紹介 鳥谷部陽之助著『春汀・狄嶺をめぐる人々』	千葉 良一	32
226 史料紹介 弘前藩日記目録（十六）	弘前藩政史研究会編	35

### 第54号 1969年11月

227 新井白石における西洋学の進展	宮崎 道生	1
228 史料紹介 銭屋関係書状（「滝谷文書」所収）について 其ノ二	小笠原 二郎	25
229 史料紹介 八戸藩の藩法史料治國要務秘鑑について	工藤 祐董	37
230 新刊紹介 江利山義顕著『青森県日蓮宗寺院史』	小舘 衷三	41
231 史料紹介 弘前藩日記目録（十七）	弘前藩政史研究会編	43

### 第55号 1970年4月

232 近代青森県キリスト教史の研究（その一）	佐藤 和夫	1
233 野辺地戦争について（上）	桜庭 秀俊	23
234 史料紹介 弘前藩日記目録（十八）	弘前藩政史研究会編	37

### 第56号 1970年11月

235 中世史と地方文書	森 克己	1
236 近代青森県キリスト教史の研究（その二）	佐藤 和夫	15
237 黒石藩明暦二年の検地帳をめぐる	七尾 美彦	26
238 史料紹介 弘前藩日記目録（十九）	弘前藩政史研究会編	35

### 第57号 1971年4月

239 ある山論の一断面—乳井・薬師堂間山論消滅の経過—	斎藤 康司	1
240 野辺地戦争について（下）	桜庭 秀俊	9
241 書評 宮崎道生著 青森県の歴史	盛田 稔	23
242 研究余録 明暦二年・貞享四年検地帳の特質	七尾 美彦	27



243 史料紹介 「志記」からみた毛内宜応の改革思想	小笠原 二郎	29
244 史料紹介 弘前藩日記目録(二十)	弘前藩政史研究会編	35

## 第58号 1972年2月

245 梅岩小論	毛内 洋雄	1
特集・地方史関係図書紹介(1)		
246 八戸市史編纂委員会編 八戸市史・史料編 近世Ⅰ・Ⅱ	工藤 祐董	25
247 平尾魯仙著 明治日記	石戸谷 正司	28
248 中道等著 三沢市史	小熊 健	33
249 斉藤馨著 岩館斉藤家盛衰記	桜庭 秀俊	36
250 史料紹介 弘前藩日記目録(二十一)	弘前藩政史研究会編	45

## 第59号 1972年9月

251 陸羯南の紋別行ー「寒帆餘影」を資料として	稲葉 克夫	1
特集・地方史関係図書紹介(2)		
252 岩木山刊行会編「岩木山ー岩木山麓古代遺跡発掘調査報告書ー」	井上 久	8
253 みちのく双書「多志南美草」	小笠原 二郎	12
254 県民生労働部労政課編 青森県労働運動史 第一巻・第二巻	斎藤 康司	15
255 西田長寿・植手通有編輯 陸羯南全集	小杉 彌景	20
256 品川弥千江著「岩木山」	小館 衷三	24
257 史料紹介 弘前藩日記目録(二十二)	弘前藩政史研究会編	28

## 第60号 1973年1月

258 津軽藩『御定書』の成立とその意義ー『町人法度』『農民法度』との関連を中心として	黒瀧 十二郎	1
特集・地方史関係図書紹介(3)		
259 五戸町誌編集委員会編「五戸町誌」	稲葉 克夫	17
260 千葉寿夫著「明治の小学校」	月足 正朗	20
261 研究余録 分米について	七尾 美彦	24
262 史料紹介 銭屋関係文書について 其ノ三	小笠原 二郎	25
263 史料紹介 弘前藩日記目録(二十三)	弘前藩政史研究会編	32
264 弘前大学国史研究総目次(創刊号～第59号)		37

## 第61号 1974年11月

265 鳥羽院政と平忠盛	安田 元久	1
266 津軽信義制定の寛永十一年法度「五箇条」について	黒瀧 十二郎	14
267 紹介 青森県高等学校地方史研究会編 青森県の歴史散歩	橋本 正信	26
268 史料紹介 弘前藩日記目録(二十四)	弘前藩政史研究会編	29
269 四十九年度大会記事	荒井 清明	33
270 四十八年度大会記事	蝦名 庸一	34

## 第62・63号 1975/01

271 新井白石とヨーロッパ	宮崎 道生	1
272 明治初期ギリシャ正教伝道史における土族信徒の政治活動について ー三戸聖母守護会記録の一断面ー	佐藤 和夫	9
273 最上徳内書状の史性と人性	小笠原 二郎	22

274 新刊紹介 森嘉兵衛著「みちのく文化論」を読んで	稲葉 克夫	35
<b>第64・65号 1976年3月</b>		
275 武家政権について	佐藤 進一	1
276 津軽藩の牢屋について	黒瀧 十二郎	8
277 研究ノート 『藩庁日記』と『凶事帳』について	篠村 正雄	23
278 研究ノート 津軽水神考	小館 衷三	28
279 史料紹介 青森県所在日記体史料	小笠原 二郎	34
280 新刊紹介 村越潔著『円筒土器文化』	福田 友之	36
<b>第66号 1977年1月</b>		
281 八戸藩武士家族法	工藤 祐董	1
282 安藤昌益と橋本律蔵	稲葉 克夫	30
283 書評・紹介 村越潔著『原始時代』	鈴木 克彦	37
284 書評・紹介 荒井清明著『新書青森県史1』	七尾 美彦	42
285 書評・紹介 小館衷三著『岩木山信仰史』	三浦 貞栄治	45
286 創立二十周年記念大会記事	荒井 清明	46
<b>第67号 1978年4月</b>		
287 藩政確立期における新田開発の展開－津軽藩の場合	浪川 健治	1
288 弘前藩の南部領取締の経緯	三浦 忠司	24
289 書評・紹介 宮崎道生著『青森県の歴史と文化』	工藤 祐董	37
290 書評・紹介 橘善光著『下北の古代文化』	村越 潔	39
<b>第68・69号 1979年3月</b>		
291 北方辺境藩研究序説－津軽藩に課せられた公役の分析を中心に	長谷川 成一	1
292 箱館戦争と弘前藩	桜庭 秀俊	33
293 研究ノート 明治地方政治思想における地域性 －青森同派の「第二維新」論・「東北人士」論をめぐって	河西 英通	56
294 書評と紹介 西村嘉著『八戸の歴史』	稲葉 克夫	67
295 書評と紹介 小館衷三編『郷土史事典 青森県』	浅倉 有子	69
<b>第70記念号 1980年4月</b>		
296 第七〇記念号の発刊に当って	虎尾 俊哉	1
297 續四方国考二題	川副 武胤	2
298 古代史上の津軽	新野 直吉	10
299 日本中央と日之本將軍	高橋 富雄	20
300 「嘉元鐘」について	福田 以久生	31
301 新井白石と津軽史	宮崎 道生	40
302 史料紹介 明治一三年初の青森県情（上）－佐々木高行奥羽巡視「復命書」より	沼田 哲	53
<b>第71号 1980年10月</b>		
303 宝暦・天明期津軽藩農村の諸問題	瀧本 壽史	1
304 研究ノート 初期議会下の一東北代議士の歩み－『備忘録日記』を中心に	河西 英通	21
305 史料紹介 明治十三年初の青森県情（下）－佐々木高行奥羽巡視「復命書」より	沼田 哲	33
306 書評・紹介 小館衷三著『津軽の民間信仰』	篠村 正雄	47
307 書評・紹介 沼館愛三著『津軽諸城の研究（草稿）』	福井 敏隆	49

## 第72号 1981年4月

308 藩制後期給人統制法の考察－秋田藩後期の給人統制－	金森 正也	1
309 研究ノート 津軽の板碑考	小館 衷三	18
310 史料解説 平尾魯仙「家訓提要」について	佐藤 和夫	30
311 書評 石崎宜雄著『近代のなかの青森県』－郷村制から市町村制へ－	橋本 正信	37

## 第73・74号 1982年3月

312 津軽藩の司法制度史考	黒瀧 十二郎	1
313 津軽藩の郷帳について－宝永八年朱印改時の郷帳を中心として－	浅倉 有子	15
314 博物館の現状と課題	鹿内 隆文	47
315 新刊紹介 国立史料館編 史料館叢書3「津軽家御定書」	工藤 祐董	55
昭和五十六年度東北史学会・弘前大学国史研究会二十五周年記念合同大会記事		
316 公開講演 東北地方の館について	本堂 寿一	57
317 公開講演 華厳美術の日本の展開	石田 尚豊	57
318 研究発表要旨 亀ヶ岡遺跡の調査について	鈴木 克彦	58
319 研究発表要旨 浪岡城跡発掘調査よりみた中世考古学の諸問題	工藤 清泰	58
320 研究発表要旨 日本神話と近代思想－聊「かのように」と芥川「おひたる素鵲尊」	川副 武胤	58
321 研究発表要旨 古代総領制についての再検討	渡部 育子	59
322 研究発表要旨 松島寺と立石寺	入間田 宣夫	59
323 研究発表要旨 中世の醍醐寺について	伊藤 清郎	60
324 研究発表要旨 羽州庄内幕領の定免制－大山・丸岡両領を中心に－	本間 勝喜	60
325 研究発表要旨 会津藩の謂ゆる「土地分給制」について	丸井 佳寿子	61
326 研究発表要旨 津軽藩の蝦夷地出兵と藩政の動向	浅倉 有子	61
327 研究発表要旨 八戸藩の新田開発－水利問題からの分析	三浦 忠司	62
328 研究発表要旨 三島通庸の山形県令時代の医療政策	小形 利彦	63

## 第75号 1983年3月

329 正蔵分率と率分所	川本 龍市	1
330 史料紹介 慶安二年二月成立の「津軽領分大道小道磯辺路并船路之帳」 (弘前市八木橋文庫所蔵)	福井 敏隆	23
331 書評 金井圓著『近世大名領の研究－信州松本藩を中心として－』	長谷川 成一	48

## 第76号 1984年2月

332 慶長九年の鷹献上文書について	長谷川 成一	1
333 研究ノート 青森県考古学の現状と諸問題	福田 友之	21
334 研究余滴 「明暦検地帳」その後	七尾 美彦	31
335 書評 高島成侑・三浦忠司著『南部八戸の城下町－むかしのまちのへをめぐって－』	佐藤 一義	34

## 第77号 1984年10月

336 北奥羽の歴史における伝承の位置－文化論的視点より－	佐々木 孝二	1
337 津軽藩儒黒瀧藤太について－昌平坂学問所・藩校に於ける活動	黒瀧 十二郎	20
338 書評論文 長谷川成一編『津軽藩の基礎的研究』	田中 秀和	37

## 第78号 1985年3月

339 黒石藩領の性格と支配－宝永二年代表越訴を素材に－	浪川 健治	1
340 研究ノート 伏見作事板の廻漕と軍役（一）	中川 和明	17

341 史料紹介 慶安二年八月五日成立の「大道筋（奥州之内南部領海陸道規帳）」 (岩手県立図書館蔵)	福井 敏隆	41
<b>第79号 1985年10月</b>		
342 津輕藩寛政改革意見書の分析－毛内館「秘書 全」、赤石安右衛門・菊池寛司「覚」、手塚玄通「管見策」－	瀧本 壽史	1
343 寺社領の変遷と神仏分離政策の動向－弘前藩を事例に－	田中 秀和	25
344 研究ノート 伏見作事板の廻漕と軍役（二）	中川 和明	58
345 新刊紹介 宮崎道生編『新井白石の現代的考察』	蝦名 庸一	84
<b>第80記念号 1986年3月 創刊30周年</b>		
346 巻頭言	長谷川 成一	表2
347 元田永孚と明治二三年神祇院設置問題	沼田 哲	1
348 津輕藩の僧侶・神官に対する刑罰	黒瀧 十二郎	16
349 青森県の大同団結運動	河西 英通	41
350 青森県の遺跡地名ノート	福田 友之	64
351 史料紹介 山田登に関する若干の史料	坂本 寿夫	88
352 歴史随想 津輕地名雑感	小館 衷三	100
353 弘前大学國史研究（第60～79号）目次		106
<b>第81号 1986年10月</b>		
354 九世紀における壱田・村落の史的展開	小口 雅史	1
355 金光明寺写経所と反故文書	渡辺 晃宏	30
356 資料館紹介 新渡戸記念館と新渡戸家三代	新渡戸 憲之	70
357 書評と紹介 『角川日本地名大辞典』2 青森県	斉藤 利男	86
358 書評と紹介 長谷川成一編『津輕近世史料 1 弘前城下史料 上』	井上 雅彦	89
<b>第82号 1987年3月</b>		
359 八戸藩の農民統制（上）	工藤 祐董	1
360 学界動向 アナール誌の歩みとヨーロッパの社会史	高橋 理	20
361 書評と紹介 田中修著『日本資本主義と北海道』	小岩 信竹	58
362 書評と紹介 前沢隆重他編『南部藩 参考諸家系図』	福井 敏隆	63
<b>第83号 1987年10月</b>		
363 文化四年・秋田藩の松前出兵－外圧と藩制－	金森 正也	1
364 八戸藩の農民統制（下）	工藤 祐董	28
365 新刊紹介 池上良正著『津輕のカミサマ』	小館 衷三	47
<b>第84号 1988年3月 宮崎道生先生古稀記念</b>		
366 宮崎道生先生の略歴、著・編著、論文目録	荒井 清明	巻頭
367 本州北端における異系統土器の派及と展開	鈴木 克彦	1
368 安東水軍史論序考	佐藤 和夫	22
369 元和・寛永期津輕藩の家臣団について－『大日本古記録 備津政景日記』の分析を通して－	福井 敏隆	38
370 研究ノート 青森県における自由民権運動	稲葉 克夫	58
371 研究ノート 『信枚と信牧－その名乗についての考察』再論	長谷川 成一	70
372 歴史随想 津輕の神仏分離余話－深浦町円覚寺の仁王様、他	小館 衷三	78
宮崎道生先生の思い出		
373 宮崎先生の思い出	小杉 彌景	81

374 思い出すままに	千葉 良一	82
375 自由民権と私	橋本 正信	84
376 古代日本における対唐観の研究－「対等外交」と国書問題を中心に	森 公章	87
377 書評と紹介 小岩信行・高橋聖太郎・四宮俊之・工藤亮著『青森県の百年』	斎藤 康司	110

#### 第85号 1988年10月

378 豊臣政権の城普請・城作事について	中川 和明	1
379 史料紹介 明治六・七年の青森県情－北代正臣「上陳及び諸伺書」他	沼田 哲	23
380 書評 長谷川成一編『弘前の文化財－津軽藩初期文書集成』	和泉 清司	44
381 新刊紹介 佐々木孝二編『総合研究・津軽十三湖』	新田 一郎	50

#### 第86号 1989年3月

382 弘前市立弘前図書館所蔵『寛平八年九年記事』について－その性格と他史料との校合	小口 雅史	1
383 法令より見たる津軽藩士の生活－衣食住を中心として	黒瀧 十二郎	14
384 外国史入門講座 アルメニア古代史展望	北川 誠一	40
385 史料紹介 「天和三年就日光御修復被仰渡覚帳」（弘前図書館蔵）	長谷川 成一	57

#### 第87号 1989年10月

386 八世紀における銭貨機能論	黒田 洋子	1
387 東北古代史研究講座 蝦夷の呼称・表記をめぐる諸問題 －第一回 研究史と課題	荒木 陽一郎	47
388 書評 木本好信編『古代の東北－歴史と民俗』	高橋 富雄	68
389 新刊紹介 馬場清編『真田太古事件関係史料集』	河西 英通	70
390 研究随想 我が研究生活－平安朝研究四十五年（一）	山中 裕	73
391 史料紹介 未紹介の大町桂月の遺稿	小口 雅史	77
392 史料紹介 『日本後紀』逸文一条	森田 悌	79

#### 第88号 1990年3月

393 宝永期藩政の位置づけについて－桜庭太郎左衛門『建白書』の検討	浪川 健治	1
394 研究ノート 鞠ノ沢の地名－古代窯業地の刻印	福田 友之	28
395 外国史入門講座 「倭の五王」時代の中国	川合 安	32
396 東北古代史研究講座 蝦夷の呼称・表記をめぐる諸問題 －第二回 「夷」表記の意味の変化について－ヒナとエミシ	荒木 陽一郎	48
397 文化財研究報告 八戸藩南部家墓所について（一）	藤田 俊雄	72
398 書評と紹介 佐々木孝二著『日本文化と八幡神』	小館 衷三	105

#### 第89号 1990年10月

399 弘前事件の再検討	河西 英通	1
400 津軽曾我氏の基礎的研究	小口 雅史	21
401 研究ノート 梶原氏の盛衰と復活－水軍史構成のために	佐藤 和夫	50
402 東北古代史研究講座 蝦夷の呼称・表記をめぐる諸問題 －第三回 十世紀以降の「蝦夷」表記と「倭国」表記について	荒木 陽一郎	65
403 文化財研究報告 八戸藩南部家墓所について（二・完）	藤田 俊雄	82
404 書評 長谷川成一編『北の城下町 弘前－一九八九年度シンポジウム報告集』	佐藤 一義	99
405 新刊紹介 青森県高等学校地方史研究会編『新版 青森県の歴史散歩』	和泉 清司	105

## 第90記念号 1991年3月

406 聚楽第行幸の行列について	中川 和明	1
407 蝦夷地警衛と藩財政	浅倉 有子	15
408 幕末維新期における在地神職の動向と神仏分離	田中 秀和	31
409 研究ノート 明治前半期の義民顕彰運動ー津輕の義民・藤田民次郎を事例にして	佐藤 公英	49
410 外国史入門講座 旧東ドイツ歴史学の変貌	加来 浩	59
411 学界動向 「中世の里シンポジウム」開催にあたっての問題意識 ー北の中世史研究に寄せて	工藤 清泰	71
412 研究余録 鎌倉期浪岡地域に関する一史料	小口 雅史	79
413 書評と紹介 北海道・東北史研究会編『北からの日本史』第2集	若松 正志	83
414 書評と紹介 藤本強著『もう二つの日本文化ー北海道と南島の文化』(UP考古叢書(2))	三浦 圭介	88

## 第91号 1991年10月

415 法令より見たる津輕藩の町人の生活(上)	黒瀧 十二郎	1
416 近世舟運の研究ー阿武隈川舟運の開始と展開	斎藤 賢之	24
417 研究ノート 祥瑞の等級に関する一考察ー『日本紀』和銅三年秋七月丙辰條を巡って	香川 郁子	49
418 学界動向 「歴史教育と電算機利用の可能性ー歴史系(日本史・経済史・社会史) 大学院院生を主たる対象とするワークショップ」の開催	小口 雅史	59
419 書評と紹介 盛田稔・長谷川成一責任編集『図説 青森県の歴史』 一九九一年度東北史学会・弘前大学国史研究会三十五周年記念合同大会記事	鶴田 啓	64
420 公開講演 現代ヨーロッパにおける民衆の生活と伝統	三浦 弘万	67
421 公開講演 日本中世史の一視角ー主従制について	上横手 雅敬	67
422 研究発表要旨 亀ヶ岡式土器の成立過程について	須藤 隆・関根 達人	68
423 研究発表要旨 天平勝宝六年の遣唐使と五月一日経	大平 聡	68
424 研究発表要旨 『釈日本紀』(開題)の構成について	佐藤 洋一	69
425 研究発表要旨 得宗被官に関する一考察ー陸奥国曾我氏を中心に	申 宗大	70
426 研究発表要旨 御師と海運ー神船をめぐる	綿貫 友子	70
427 研究発表要旨 天正十年代の東国情勢をめぐる一考察ー下野皆川氏を中心に	高橋 博	71
428 研究発表要旨 仙台紅花商と上方商人	安藤 重雄	71
429 研究発表要旨 幕末における八戸藩と薩摩グループの形成	三浦 忠司	72
430 研究発表要旨 安政三年・二つの奥巡の記	藤原 暹	72
431 研究発表要旨 福島県の民会について	田島 昇	73

## 第92号 1992年3月

432 民権期青森県地域新聞の展開過程ー「滝屋文書」を中心に	河西 英通	1
433 法令より見たる津輕藩の町人の生活(下)	黒瀧 十二郎	19
434 学界動向 秋田近世史研究の課題ー『近世の秋田』の書評を通して	金森 正也	38
435 史料紹介 『日本後紀』逸文一条(『師光年中行事』)	森田 悌	44

## 第93号 1992年10月

436 山野河海と救荒	菊池 勇夫	1
437 天正十年代の東国情勢をめぐる一考察ー下野皆川氏を中心に	高橋 博	22
438 研究ノート 律令制下における精神病離婚	渡辺 俊三・小口 雅史	43
439 史話拾遺 詭弁・名言	利光 三津夫	48
440 新刊紹介 山本博文著『江戸お留守居役の日記』	黒瀧 十二郎	50

## 第94号 1993年3月

441 渤海の首領について	森田 悌	1
442 明治初年弘前藩の経済政策についてー藩財政と藩士生計を中心としてー	坂本 寿夫	9
443 東北古代史研究講座 蝦夷の呼称・表記をめぐる諸問題 ー第四回 神武紀歌謡における「愛瀾詩」の考察	荒木 陽一郎	35
444 学界動向 「讃岐国山田郡田図の世界」をたずねて	麻野 絵里佳	48
445 学界動向 「昌益国際フェスティバル・八戸」を開催して	三浦 忠司	55
446 書評と紹介 稲葉克夫著「青森県の近代精神」	橋本 正信	59

## 第95号 1993年10月

447 「野中寺弥勒像」の年代について	大山 誠一	1
448 法令より見たる津軽藩の農民の生活	黒瀧 十二郎	21
449 研究ノート 津軽林業史研究の現状と課題	脇野 博	51
450 東北古代史研究講座 蝦夷の呼称・表記をめぐる諸問題 ー第五回 表記「毛人」「蝦夷」の起源と呼称エミシとの結びつき	荒木 陽一郎	56
451 新刊紹介 足立尚計著『知られざる福井の先人たち』	山上 笙介	76
452 藩政史研究会五〇回の歩み	藩政史研究会	80

## 第96号 1994年3月

453 長屋王家木簡再考	森 公章	1
454 史料紹介 毛夷東環記（一）	浪川 健治	34
455 学界動向 三内丸山（2）遺跡に見る縄文集落の姿	岡田 康博	48
456 研究随想 我が研究生活ー平安朝研究四十五年（二）	山中 裕	53
457 山中裕先生著書・論文目録（一）	小口 雅史	60
458 書評論文 北奥地域の歴史主体をみつめてー浪川健治著『近世日本と北方社会』の書評と紹介	田端 宏	64
459 書評と紹介 『五所川原市史』史料編1	栗村 知弘	71
460 書評と紹介 北海道・東北史研究会編『海峡をつなぐ日本史』	中野渡 一耕	76

## 第97号 1994年10月

461 鎌倉幕府の東国経営ーその仏教史的一断面ー	佐々木 馨	1
462 近世後期南部藩における「所給人」知行所と村落構造ー「家」・同族団を通してー	西野 隆次	23
463 研究ノート 流謫後の賀茂規清について（上）ー諸書に散見する規清記事に関する一考察ー	中村 和裕	48
464 史料紹介 毛夷東環記（二）	浪川 健治	58
465 研究随想 我が研究生活ー平安朝研究四十五年（三）	山中 裕	69
466 山中裕先生著書・論文目録（二）	小口 雅史	77
467 書評 金森正也著『秋田藩の政治と社会』	今野 真	83
468 研究余録 鎌倉期浪岡地域に関する一史料・補考	小口 雅史	88

## 第98号 1995年3月

469 弘前藩「御告御用」の基礎的考察	瀧本 壽史	1
470 研究ノート 津軽領嶽温泉と岩木山信仰	黒瀧 十二郎	30
471 研究ノート 流謫後の賀茂規清について（下）ー諸書に散見する規清記事に関する一考察ー	中村 和裕	41
472 史料紹介 毛夷東環記（三）（止）	浪川 健治	53
473 研究随想 我が研究生活ー平安朝研究四十五年（四）	山中 裕	65
474 山中裕先生著書・論文目録（三）	小口 雅史	69
475 書評と紹介 国立歴史民俗博物館編『中世都市十三湊と安藤氏』	鈴木 登	73
476 書評と紹介 小口雅史編『津軽安藤氏と北方世界ー藤崎シンポジウム「北の中世を考える」ー』	中村 和之	78

## 第99号 1995年10月

477 武蔵・下総間の駅路再考	森田 悌	1
478 「見聞諸家紋」群の系譜	秋田 四郎	12
479 研究ノート 南部氏側妾小考ー重信の実母お松を事例にー	高橋 博	36
480 研究随想 我が研生活ー平安朝研究四十五年（五・完）ー	山中 裕	43
481 山中裕先生著書・論文目録（四）	小口 雅史	49
482 書評と紹介 『新編弘前市史』資料編1（考古編）	福田 友之	53
483 書評と紹介 『新編弘前市史』資料編1（古代・中世編）	大平 聡	57

## 第100号 1996年3月 創立40周年記念

484 巻頭随想「弘前大学国史研究」創刊の頃	虎尾 俊哉	1
485 「聖徳太子」研究の再検討（上）	大山 誠一	4
486 鎌倉末期の下総山川氏と得宗権力	市村 高男	22
487 「安家之文」と「五七桐」	秋田 四郎	45
488 平田篤胤の蘭学観	中川 和明	74
489 研究ノート 貞観十一年「陸奥国地大振動」と十和田火山についてのノート	伊藤 一允	89
490 研究ノート 北奥大名南部氏の家紋	本田 伸	105
491 研究ノート 弘前藩士の婚姻について	黒瀧 十二郎	113
492 史料紹介 鶴屋有節宛平田鉄胤書翰四通をめぐって	沼田 哲	123
493 書評と紹介 長谷川成一著『失われた景観ー名所が語る江戸時代ー』	岩鼻 通明	140
494 国史研究会の思い出 回想	山上 笙介	142
495 『弘前大学国史研究』総目次（附・著者別索引）	小口 雅史	(10)
496 法隆寺献納宝物之香木之刻銘と焼印について	星野 聡	(1)

## II 著者別索引

## 著者名 検索番号

相沢 文蔵	147	伊東 洋一	133
秋田 四郎	478, 487	稲葉 克夫	30, 38, 40, 66, 121, 136, 141,
秋月 観暎	17, 43		148, 165, 172, 201, 210, 222,
浅倉 有子	295, 313, 326, 407		251, 259, 274, 282, 294, 370
麻野 絵里佳	444	井上 久	33, 47, 252
荒井 清明	62, 156, 182, 219, 269, 286, 366	井上 雅彦	358
荒木 陽一郎	387, 396, 402, 443, 450	井上 豊	131
安藤 重雄	428	入間田 宣夫	322
井浦 芳信	18	岩鼻 通明	493
石田 尚豊	317	内山 善一	54, 152, 193
石戸谷 正司	37, 53, 247	上横手 雅敬	421
和泉 清司	380, 405	江坂 輝彌	61
市村 高男	486	蝦名 庸一	19, 65, 72, 79, 90, 179, 194, 196,
伊藤 一允	489		270, 345
伊藤 清郎	323	大江 正文	108, 119
伊東 多三郎	94	大川 哲夫	112, 118, 214
伊東 信雄	128	大平 聡	423, 483



- 大山 誠一 447, 485  
 小笠原 二郎 157, 176, 180, 197, 206, 228, 243, 253, 262, 273, 279  
 岡田 康博 455  
 小形 利彦 328  
 小口 雅史 354, 382, 391, 400, 412, 418, 438, 457, 466, 468, 474, 481, 495  
 小熊 健 248  
 奥本 算人 82, 87  
 長内 鉄也 83, 88  
 小田川 匡男 32  
 小野 慎吉 123  
 香川 郁子 417  
 加来 浩 410  
 河西 英通 293, 304, 349, 389, 399, 432  
 金森 正也 308, 363, 434  
 川合 安 395  
 川久保 梯郎 64  
 川副 武胤 297, 320  
 川本 龍市 329  
 菊地 勇夫 436  
 北川 誠一 384  
 工藤 清泰 319, 411  
 工藤 正 34, 127  
 工藤 祐司 107  
 工藤 祐董 229, 246, 281, 289, 315, 359, 364  
 栗田 郁夫 149  
 栗村 知弘 459  
 黒田 洋子 386  
 黒瀧 十二郎 258, 266, 276, 312, 337, 348, 383, 415, 433, 440, 448, 470, 491  
 郡場 寛 24  
 小岩 信竹 361  
 小杉 彌景 255, 373  
 小舘 衷三 84, 92, 98, 122, 134, 153, 160, 164, 171, 199, 216, 230, 256, 278, 309, 352, 365, 372, 398  
 小葉田 淳 178  
 今野 真 467  
 斎藤 康司 207, 239, 254, 377  
 斎藤 賢之 416  
 斉藤 利男 357  
 坂詰 秀一 48  
 坂本 太郎 183  
 坂本 寿夫 351, 442  
 桜庭 秀俊 233, 240, 249, 292  
 佐々木 悦夫 200  
 佐々木 馨 461  
 佐々木 孝二 336  
 佐藤 和夫 99, 106, 135, 168, 174, 184, 205, 232, 236, 272, 310, 368, 401  
 佐藤 一義 335, 404  
 佐藤 公英 409  
 佐藤 進一 275  
 佐藤 仁 2, 26, 31, 44, 69, 71, 91, 138, 161, 166, 202, 211, 224  
 佐藤 洋一 424  
 鹿内 隆文 314  
 篠村 正雄 277, 306  
 申 宗大 425  
 菅井 睦生 120, 144  
 杉井 六郎 13, 218  
 鈴木 克彦 283, 318, 367  
 鈴木 照子 101  
 鈴木 登 475  
 須藤 隆 422  
 関根 達人 422  
 宗 定範 111  
 高橋 栄悦 21  
 高橋 理 360  
 高橋 崇 23  
 高橋 富雄 299, 388  
 高橋 博 437, 479, 427  
 瀧本 壽史 303, 342, 469  
 田島 昇 431  
 田中 信夫 11  
 田中 秀和 338, 343, 408  
 田名部 貞宣 12, 42, 49  
 田端 宏 458  
 田村 意弘 114  
 千葉 良一 4, 15, 35, 50, 225, 374  
 月足 正朗 209, 223, 260  
 鶴田 啓 419  
 東恩納 寛惇 75  
 時野谷 滋 6  
 豊田 武 117, 126, 189  
 虎尾 俊哉 1, 22, 52, 73, 76, 78, 132, 146, 167, 296, 484  
 長岡 新吉 140  
 中川 和明 340, 344, 378, 406, 488  
 中野渡 一耕 460

- |        |   |        |                         |
|--------|---|--------|-------------------------|
| 中村 和裕  | 463, 471  | 毛内 洋雄  | 245                     |
| 中村 和之  | 476   | 森 克己   | 235                     |
| 七尾 美彦  | 186, 237, 242, 261, 284, 334  | 森 公章   | 376, 453                |
| 浪川 健治  | 287, 339, 393, 454, 464, 472  | 森田 悌   | 392, 435, 441, 477      |
| 成田 末五郎 | 125, 208  | 盛田 稔   | 7, 20, 36, 57, 113, 241 |
| 鳴海 健太郎 | 145, 185, 213   | 安田 元久  | 265                     |
| 新野 直吉  | 28, 155, 190, 221, 298  | 山上 笙介  | 451, 494                |
| 西野 隆次  | 462   | 山中 裕   | 390, 456, 465, 473, 480 |
| 新田 一郎  | 381   | 利光 三津夫 | 439                     |
| 新渡戸 憲之 | 3, 14, 41, 356  | 若松 正志  | 413                     |
| 沼田 哲   | 302, 305, 347, 379, 492   | 脇野 博   | 449                     |
| 羽賀 與七郎 | 8, 29, 59, 74, 100, 124, 130, 163, 187  | 渡辺 晃宏  | 355                     |
| 橋本 正信  | 137, 217, 267, 311, 375, 446  | 渡部 育子  | 321                     |
| 長谷川 成一 | 291, 331, 332, 371, 385, 346  | 渡辺 俊三  | 438                     |
| 原田 正信  | 115   | 綿貫 友子  | 426                     |
| 藩政史研究会 | 150, 154, 158, 173, 162, 169, 177, 181, 188, 191, 195, 198, 203, 215, 220, 226, 231, 234, 238, 244, 250, 257, 263, 268, 452 |        |                         |
| 平山 久夫  | 170   |        |                         |
| 福井 貞助  | 151   |        |                         |
| 福井 敏隆  | 307, 330, 341, 362, 369   |        |                         |
| 福田 以久生 | 300   |        |                         |
| 福田 友之  | 280, 333, 350, 394, 482   |        |                         |
| 藤田 俊雄  | 397, 403  |        |                         |
| 藤原 暹   | 430   |        |                         |
| 古田 良一  | 39  |        |                         |
| 宝月 圭吾  | 212   |        |                         |
| 星野 聡   | 496   |        |                         |
| 本田 伸   | 490   |        |                         |
| 本堂 寿一  | 316   |        |                         |
| 本間 勝喜  | 324   |        |                         |
| 松尾 捷一  | 104   |        |                         |
| 松本 佩   | 139   |        |                         |
| 松森 永祐  | 58  |        |                         |
| 丸井 佳寿子 | 325   |        |                         |
| 三浦 圭介  | 414   |        |                         |
| 三浦 忠司  | 288, 327, 429, 445  |        |                         |
| 三浦 貞栄治 | 285   |        |                         |
| 三浦 弘万  | 420   |        |                         |
| 宮崎 道生  | 10, 25, 46, 68, 86, 93, 110, 143, 159, 175, 192, 204, 227, 271, 301   |        |                         |
| 宮本 真澄  | 95  |        |                         |
| 村越 潔   | 80, 97, 103, 290  |        |                         |